

議会報告会

(東部地区)



麓郷・布礼別・富丘・八幡丘の議会報告会

麓郷集落センターに於いて、1月19日午後6時より参加者40名で開催されました。

議会報告会の中では、議会活動の現状、各委員会、特別委員会の活動状況、議会改革の経過等の報告を行い、その後意見交換を行いました。

議会報告に対する意見は少なく、「移住・定住」「地産地消」「雇用問題」等のまちづくり、農業の担い手確保を含めた「地域振興施策」「地域活性化」等地域に若者が残れるための地域づくり、「安心・安全な暮らし」

が出来るための道路管理を含めた地域要望等が意見交換の場で議論されました。

議会報告会は、初めての試みであり、不安な一面もありましたが、会議全体を通しては、私達が意図するものが伝えられたと思います。

報告会は、議会活動の現状を住民に知っていただき、議会も住民の思いを身近で聞き、お互いの意見交換の場所であることが大切です。話し合われたことを課題整理し、議会として、議員としてどのように取り組みをするのかを明確にし、その内容について住民に説明することが大切です。

住民と議会のつながりを深める意味において、議会報告会は今後も続けていく必要性があり何よりも議会として、議員としての資質を高め、自らの責任を果たすために大切な事業であると思います。

次回からは、議会からの報告事項を簡潔に整理し、時間配分を考慮し、住民との意見交換の時間を十分に取れるように心がけるべきと思います。

◆予算特別委員会報告◆ 委員長 岡野孝則・副委員長 今利一

平成22年度各会計予算・関連議案など 全付託案件を全会一致で原案どおり可決

◆予算特別委員会は、3月3日全議員をもって設置され、一般会計・7特別会計・2企業会計及び関連する基金の処分や条例の一部改正など全15件の議案が付託されました。

◆審査は、3日間の日程で行なわれ、一般会計当初予算は前年対比で0.4%増となりました。国の地方財政対策などを踏まえ、給与所得の減少や企業収益の落ち込みによる市税の減収等、厳しい財政状況の中、各種事業の適正な執行の観点から質疑が行われました。一般会計では、特に広域連合負担金、地上デジタル中継局設置事業費、小児救急医療支援事業費、公衆浴場確保対策事業費、環境保全対策事務費、農村実態調査事業費、農業労働力確保対策事業費、物産センター管理運営費、公営住宅火災警報器設置工事費、環境教育推進事業費、放課後子ども教室推進事業費、学校開放事業費など、特別会計、企業会計においては、介護保険、公設地方卸売市場、ワイン事業会計などについての質疑が行われました。

◆質疑終了後討論の申し出はなく、採決の結果、付託全案件が全会一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定しました。

■平成22年度各会計予算額

会計	予算額	前年比
一般会計	109億9200万円	2.9%増
特別会計	国民健康保険	30億9140万円 4.9%増
	介護保険	16億1030万円 4.1%減
	老人保健	2080万円 5.9%減
	後期高齢者医療	2億4720万円 6.6%増
	公設地方卸売市場	2200万円 増減なし
	公共下水道	7億1100万円 15.8%減
	簡易水道	1億2840万円 52.5%減
企業会計	水道事業	5億5980万円 8.9%減
	ワイン事業	7億3660万円 1.3%増
合計	181億1950万円	0.4%増

●事務調査

●総務文教委員会・経済建設委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査を行います。

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第1号	スポーツ振興について
経済建設委員会	調査第2号	ふらのらしい住環境整備について